

ミカワツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> Planch. var. <i>mikawanum</i> (Makino) Makino	準絶滅危惧
		ツツジ科
選定理由	生育地が少ないうえ、個体数もかなり減少してきている。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	半常緑の低木。春葉は長楕円形から倒長楕円形、鋭尖頭から凸頭、基部はくさび形、長さ1-2.5(-3)cm、幅0.5-1cm、両面に褐色の長毛がある。枝先に花をつける。花柄は長さ8-10mm、花冠は長さ約3cm、赤紫色。雄蕊は5本。	
生態的特徴	湿地に生育する。花期は5月。	
分布状況	日本に固有で、東海地方に分布する。岐阜県では県南東部に見られる。	
減少要因	湿地の破壊による生育環境の悪化。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		
		

文責:高橋弘